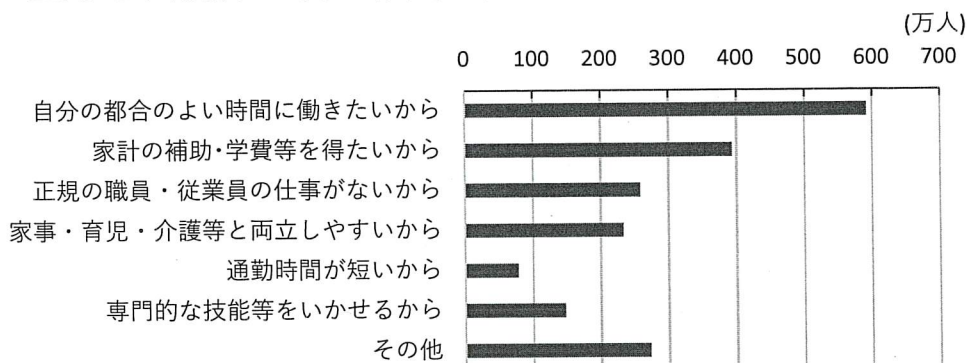


## 「自由だから」～あえて非正規を選ぶ人たち～

総務省が発表した平成30年4月～6月の労働力調査によると、「自分の都合のよい時間に働きたいから」という理由で非正規として働き、時間の自由度を求める人が592万人で、5年前に比べると、実に44%も増えていることがわかりました。

主な理由別非正規の職員・従業員の内訳 (総務省まとめ)



働く主婦や高齢者の増加が見られる中、「家計の補助・学費等を得たいから」、「家事・育児・介護等と両立しやすいから」などの理由を抑え、「自分の都合のよい時間に働きたいから」が最も多く全体の3割程です。

その理由のひとつは、人材不足を背景にした非正規雇用者の待遇改善とのこと。6月の毎月勤労統計調査では、パートタイムの時給は1.8%増、正社員は0.9%増と、非正規の賃金上昇ペースが正社員を上回り、その差は縮小しています。

また、何かとネガティブなイメージが付きまとう非正規雇用ですが、非正規には配置転換や転勤などもなく、仕事内容も自分の技術を活かしたり、非正規としてのメリットをうまく利用している方もいられます。

ただ、「正規の職員・従業員の仕事がないから」という理由で非正規の人も259万人います。非正規雇用の実情を多方面から捉える必要があります。

メールマガジン配信希望の方は下記のメールアドレスまでご連絡くださいませ。